

鐵道

ノ東京部

二函	架	冊	一類
----	---	---	----

自明治二年十一月
至同十年十一月

工部省

国立公文書館	
分類	
排架番号	2 A 33-5 ① 121

工部省

鐵道部

明治二年十一月十日鐵道布設ノ廟議ヲ決セ

鐵道布設ノ議
ヲ決シ資金ヲ英
國借入

ラレ尋テ民部兼大藏卿伊達宗城大藏大輔大

正誤

千八百七十年六月三日即明治三年五月廿四日故アリテ更ニ在橫濱ナ英人エツテ

東洋銀行ニ委託シ外債ノ事務ヲ扱ハシム云

債ノ（百万ポンド）契約ヲ定ム（千八百七十年

明治三年五月廿四日）更ニ在橫濱東洋銀行

ニ對シ政府ノ名代人タル一ヲ委託シ英國政府

庚申明治三年三月十九日鐵道局ヲ東京築地ノ舊

鐵道局ヲ創設シ
監督野景
範其事ヲ監ス

尾張郎ニ創置シ支局ヲ橫濱ニ設テ民部省ニ

工部省

鐵道部

鐵道部設立議
英金ヲ貸
國借ル

明治
二十
五年
八月
二十
日

鐵道局ヲ創設シ
監督野景
範其事ヲ監ス

己巳 明治二年十一月十日鐵道布設ノ廟議ヲ決セ
ラレ尋テ民部兼大藏卿伊達宗城大藏大輔大
隈重信大藏少輔伊藤博文ヲシテ資金ヲ英國
ニ借ルヲ擔掌セシメラル乃チ英人エツチ
エニ、レ、氏ノ周旋ヲ以テ同國東洋銀行ト外
債ノ（百万ポンド）契約ヲ定ム（一千八百七十
年）明治三年五月廿四日更ニ在橫濱東洋銀行
ニ對シ政府ノ名代人タル一ヲ委託シ英國政府
ニ對シハシムト云（事務）
庚午 明治三年三月十九日鐵道局ヲ東京築地ノ舊
尾張邸ニ創置シ支局ヲ橫濱ニ設テ民部省ニ

其留置量地
ヲ起業ノ期トス
横濱停車場、
敷地ヲ定ム

於テ之ヲ所轄ス（民部省中ニ鐵道掛ヲ置カル）
監督正上野景範其事務ヲ總掌シ土木司權正
平井希昌之ヲ輔ケ土木司大屬小林一知全準
十等出仕小野友五郎等傭英人建築師モシル
等ト共ニ東京横濱間（西間ノ距離七里十一町
ナヤマイン許トス）鐵道線路測量ノ業ヲ掌ル
是ヨリ前十七日東京府并ニ神奈川品川、二
縣ニ鐵道築造ニツキ東京ヨリ神奈川マテノ
線路測量トシテ傭外國人ヲ率テ役々出張ノ
旨ヲ達シ而シテ廿五日芝口汐留、近傍ヲ量
地ス是レヲ起業ノ期トス
五月神奈川縣ニ於テ二年二月來埋築ニ著手
セシ横濱野毛浦海岸地壹万千八百七十九坪

附錄

横濱停車場用地十一年一月ノ調査概ニ六地坪三万九千貳百八拾貳坪容積
許（地表面高金四拾五万千）其買上費及ニ海岸埋築費合計金拾七万五千九百九十四
三厘許又同所物揚場五拾貳坪許（此埋築費金百三拾八圓貳拾五厘）青木町海
六厘許トス（附屬地）

工部省鐵道、
事務ヲ掌ス

其中央五間通りヲ鐵道線路トス
閏十月廿二日工部省ヲ置カレ鐵道ノ事務ヲ
掌管ス

十二月鐵道掛ヲ工部省中ニ移ス○横濱十一
番英國東洋銀行ハ當索一般ノ用途ヲ委託シ
外國人傭入ノ人撰並ニ諸器械買上品ノ検査
ヲ擔任セシム（外債百万磅ノ内三十万磅）

明治四年三月横濱本町商福島長兵衛ハ相州
六ヶ村根府川、浦、岩、石山ヨリ用石所出
方ノ支配ヲ命ス○英人外科醫「手工」セル

若沼留置地
ヲ起業ノ期トス

横濱停車場
敷地ヲ定ム

於テ之ヲ所轄ス（民部省中ニ鐵道掛ヲ置カル）
監督正上野景範其事務ヲ總掌シ土木司權正
平井希昌之ヲ輔ケ土木司大屬小林一知全準
十等出仕小野友五郎等傭英人建築師モシル
等ト共ニ東京横濱間（兩間ノ距離七里十一町
ナセマイン許トス）鐵道線路測量ノ業ヲ掌ル
是ヨリ前十七日東京府并ニ神奈川品川ノ二
縣ニ鐵道築造ニツキ東京ヨリ神奈川マテノ
線路測量トシテ傭外國人ヲ率テ役々出張ノ
旨ヲ達シ而シテ廿五日芝口汐留ノ近傍ヲ量
地ハ是レヲ起業ノ期トス
五月神奈川縣ニ於テ二年二月來埋築ニ著手
セシ横濱野毛浦海岸地壹万千八百七十九坪

鐵道
事務
部
省
中
ニ
鐵
道
掛
ヲ
置
カ
ル

工部省鐵道
事務ヲ掌ス

許全縣ヨリ受領シ横濱停車場設置ノ地トス
而シテ全所地續キ石崎ヨリ神奈川青木町海
岸マテ長サ七百七十間巾三十五間ノ堤ヲ築
キ其中央五間通リヲ鐵道線路トス
閏十月廿二日工部省ヲ置カレ鐵道ノ事務ヲ
掌管ス

十二月鐵道掛ヲ工部省中ニ移ス○横濱十一
番英國東洋銀行ハ當索一般ノ用途ヲ委託シ
外國人傭入ノ人撰並ニ諸器械買上品ノ検査
ヲ擔任セシム（外債百萬磅ノ内三十萬磅
ヲ器械購買費ニ充ツト云）

明治四年三月横濱本町商福島長兵衛ハ相州
六ヶ村根府川江ノ浦岩ノ石山ヨリ用石所出
方ノ支配ヲ命ス○英人外科醫「チエールセル

工部省中鉄道
寮に置き大森井
上勝鐵道頭兼
任

竹田春風橫濱
出張橋本則順大
坂出張各其事

ヲミテ建築所工夫等ノ患者ヲ治療セシム○
六月芝田町鹿兒島即ヨリ高輪大木戸マテノ
海面埋築ノ工ヲ起ス其經營ハ馬踏三間半ニ
シテ表面ノ龜腹石垣ノ勾配高サ一尺ニツキ
一尺五寸トナシ後面ハ表面ノ勾配ニ準シ其
盛リ土ヲ三倍トス

七月傭外國人役宅料並ニ旅費日當等ノ定額
ヲ議定ス(六月十一日改正)

八月十四日工部省中ニ十寮一司ヲ置カレ鐵
道ヲ一等寮トス工部大丞井上勝鐵道頭兼鐵
道頭ニ任シ竹田春風佐藤政養橋本則順鐵道
助ニ佐畑信之鐵道推助ニ任セラル而シテ竹
田春風ハ橫濱出張所橋本則順ハ大坂出張寮

務ヲ兼ス

建築師長ニ
氏資金ヲ賜フ

ニ於テ其事務ヲ管理ス
九月英人建築師長エドモンドモレル肺疾ニ
罹リ療養ノ為メ印度地方ニ往カニテ請フ
乃チ左ノ命アリ

昨庚午ノ夏我政府ノ徵ニ應シ來リシヨリ
以來工部建築ノ事ニ從ヒ夙夜勉勵急ラス
故ヲ以テ東京橫濱及ヒ神戸大阪間ノ鐵道
殆ト落成ニ至リ建築ノ學科モ亦隨テ開ケ
我人民將ニ永世ノ洪益ヲ受ントス是レ單
ニ汝力勤苦ト才能トニ是レ由ル其功少シ
トセス今ヤ不幸ニシテ疾ニ罹ル我政府ニ
於テ甚タ之ヲ憂ヒ切ニ其回復ノ速ナルヲ
望ム因テ

天皇陛下ノ命ニヨリ療養ノ資トシテ金五千兩ヲ下賜ス九月十九日工部大輔後藤元燐達之

建築師長モ
氏病死

鐵道権助佐畑信之鐵道中屬松田金次郎水谷六郎瓜生震ノ四名印度地方ノ鐵道組立方並ニ氣車運轉方ヲ實視ノ為メ「モレル」工隨行ヲ命セラル尋ニ廿四日「モレル」死去四名ノ印度行ヲ罷ム○廿二日瓜生震ヲシテ造船頭肥田為良ト共ニ歐米各國ニ派遣セラル（瓜生震歐五月一日工部省留學生ヲ命セラレ七年六月九日歸朝全并六月廿二日鐵道三等及手ニ任

運輸掛官員ノ
服制ヲ定ム

明治五年三月運輸掛官員ノ服制ヲ定ム（驛長車長守線）
改札方線

品横間氣車運
轉ノ業ヲ開ク

附錄

汐溜停車場用地十二畝一月、調査概ニ地坪六万七千八百餘坪、以テ鐵道略則ニシテ此地價金貳萬五千三百五拾二兩許（京濱兩鐵間各駅間）九日氣車往復ノ數

汐溜停車場ヲ
新橋停車場ト
改稱

增加シ前日頒布ノ表ヲ更正ス○廿七日汐溜停車場ヲ新橋停車場ト改稱ス

職制并事務章
程ヲ定ム

井上勝鐵道頭
專任ス

○是月鐵道索ノ職制并ニ事務章程ヲ定ム
七月四日鑛山頭兼鐵道頭井上勝鐵道頭ニ專任ス○八日品川横濱間氣車ノ往復一日六回ノ數其數ヲ增加シ八回トナシ其旨ヲ頒布ス

天皇陛下ノ命ニヨリ療養ノ資トシテ金五千兩ヲ下賜ス九月十九日工部大輔後藤元燐達之

建築師長
氏病死

鐵道權助佐畑信之鐵道中屬松田金次郎水谷六郎瓜生震ノ四名印度地方ノ鐵道組立方並ニ瀛車運轉方ヲ實視ノ為メ「モレル」工隨行ヲ命セラル尋ニ廿四日「モレル」死去四名ノ印度行ヲ罷ム○廿二日瓜生震ヲシテ造船頭肥田為良ト共ニ歐米各國ニ派遣セラル（瓜生震歐五月一日工部省留學生ヲ命セラレ七年六月九日歸朝全年六月廿二日鐵道三等技手ニ任

運輸掛官員
服制ヲ定ム

明治五年三月運輸掛官員ノ服制ヲ定ム（驛長車長守線）
改札方

品川間瀛車運
轉ノ業ヲ開ク

沼留停車場ヲ
新橋停車場ト
改稱

職制并事務章
程ヲ定ム
井上勝鐵道頭
專任ス

五月七日品川停車場ヨリ横濱停車場マテ瀛車運轉ノ業ヲ始メ而シテ乘車制限並ニ乗客ノ運賃携帶荷物ノ賃金等ヲ頒布ス是ヨリ先二月廿八日五月四日ノ兩次ヲ以テ鐵道略則並ニ犯罪罰例ヲ布告ス○九日瀛車往復ノ數ヲ増加シ前日頒布ノ表ヲ更正ス○廿七日沼留停車場ヲ新橋停車場ト改稱ス
六月五日神奈川川崎ノ兩停車場建築落成本日ヲ以テ開場シ乘車時限并ニ賃金表ヲ頒布ス○是月鐵道索ノ職制并ニ事務章程ヲ定ム
七月四日鑛山頭兼鐵道頭井上勝鐵道頭ニ專任ス○八日品川横濱間瀛車ノ往復一日六回ノ數其數ヲ増加シ八回トナシ其旨ヲ頒布ス

鐵道業總
裁カミ氏ノ
傭使ヲ約ス

新橋鶴見兩
停車場鐵工
太田資政鐵
道助任ス

鐵道築造起業以來總裁ノ權ヲ與ヘシ東洋
銀行社員「カ」氏今般本國倫敦府同社員
中ヨリ歸國ヲ促ナカサレシ據報アリシヲ以
テ工部御用掛大隈重信工部權大佐山尾庸三
鐵道頭井上勝ヨリ倫敦府東洋銀行社長「チ」ヤ
「ル」スチ「エ」ア「ト」氏ハ照會ノ末同氏ヨリ「カ
「イ」ル「氏」ハ該社員ヲ脱シ大日本政府ノ招聘
ニ應シ千八百七十二年第一月ヨリ（明治五
年閏月給二千弗ヲ以テ其職ニ從事スヘク
旨ヲ諭示シ是月ヲ以テ更ニ傭使ノ約ヲ定ム
八月新橋鶴見兩停車場建築ノ工ヲ竣ム○廿
七日六等出仕太田資政鐵道助ニ任セラル○
是月京濱間ノ鐵道建築創業ヨリノ經費ヲ總

京濱間鐵道
築造經費ノ
總計

計スルニ金百拾五万四百八拾五兩永百七拾
七兩文洋銀三万九千五百六拾四兩七十四セ
ト五ニシテ合金百拾九万四拾九兩三分永百
六拾六文許鐵道外ノ建築其他ノ諸費總額ハ
金拾壹万五千三百六拾八兩貳分永八拾四文
貳分許トス即チ大藏省ヨリ支出ノ額ニシテ
橫濱東洋銀行ヨリ支出ノ額ハ洋銀貳拾三万
九千貳百貳弗九拾セント許英國倫敦ヨリ支
辨ノ額ハ洋銀四拾三万四千百六拾四弗貳拾
九セント許皆鐵道建築費ニ係ル而シテ京濱
間橋梁ヲ架スル大小二十二ヶ所停車場ヲ設
ル新橋品川川崎鶴見神奈川橫濱ノ六ヶ所ト
ス

京濱間橋梁
架スル所
停車場設ル
所トス

車駕新橋横濱
停車場、
臨御鐵道開
業式ヲ行フ

新橋横濱間
鐵道運輸
業式ヲ行フ

參議院
議決
信託恩賜

九月十二日

車駕新橋横濱ノ西停車場へ臨御鐵道開業ノ式ヲ行ハセラル各廳勅奏任官及ヒ宮内省間詰直垂ニテ供奉ニ各國公使領事等參會ス此日民庶ニ縱觀ヲ許サル○十三日新橋横濱間ノ旅客車ノ運輸本日ヨリ始業ノ旨ヲ布達ス○故鐵道兼電信建築首長モレルノ後任ヲ英國ニ囑シ「リチャルド、ビカルス、ボイル」是月ヲ以テ渡來シ月給初年ハ二千四百磅第二年ハ二千七百磅第三年ヨリ第五ヶ年ニ至ル三千磅ト定ム○廿五日鐵道創建ノ際首トシテ物議ヲ排シ遂ニ成功ニ至ルヲ賞セラレ參議大隈重信工部大輔伊藤博文ニ劔一口(代金六百兩)

増補

○十二月本年五月七日品川横濱間汽車運輸始業以來九月ニ至ル乘客ノ數ヲ總計スルニ廿八万六千八十七人ニテ其乘客貨物賃金等ノ收入合計金拾万四千八百五拾壹圓貳拾壹匁九厘八毛許トス又新橋横濱間開業以來十月ニ至ル乘客ノ數貳拾万九千四百八十三人ニテ其賃金貨物賃金等ヲ合併セテ拾八圓九拾六匁壹厘五毛許ノ收入額トス而シテ營業費支出、合計ハ金拾壹萬三千四百六拾四匁四厘五毛許ナリト云

西白縮緬
勅典(本年四月)

東京間鐵道
屬スル諸建築
功

鐵道屬スル
電信線鐵道
當於所轄ス

テウ「インク」運輸長ハ「ト」熱氣頭「ア」ナント「醫」師「ハ」リル「同」ウ「ユ」ル「等」ニ物品ヲ賜フ各差アリ○廿九日京濱間鐵道ニ屬スル諸建築ノ全功ヲ奏スルハ此日ニアリ而シテ其創業ヨリ月ヲ閱スル三十一許トス
十月三日新橋横濱ノ鐵道ニ屬スル電信線ヲ當寮ニ於テ所轄シ其規則ヲ定ム而シテ新橋、品川、河崎、鶴見、神奈川、横濱ノ六局へ各其長ヲ

車駕新橋兩
停車場、
臨御鐵道開
業式ヲ行フ

新橋橫濱間
鐵道運輸、
業ヲ振興

參議大隈重
信、恩賜

九月十二日

車駕新橋橫濱ノ兩停車場、臨御鐵道開業ノ式ヲ行ハセラル各廳勅奏任官及ヒ宮内省間詰直垂ニテ供奉ニ各國公使領事等參會ス此日民庶ニ縱觀ヲ許サル○十三日新橋橫濱間ノ旅客汽車ノ運輸本日ヨリ始業ノ旨ヲ布達ス○故鐵道兼電信建築首長モレルノ後任ヲ英國ニ囑シ「リチャルド、ビカルス、ボイル」是月ヲ以テ渡來シ月給初年ハ二千四百磅第二年ハ二千七百磅第三年ヨリ第五ケ年ニ至ル三千磅ト定ム○廿五日鐵道創建ノ際首トシテ物議ヲ排シ遂ニ成功ニ至ルヲ賞セラレ參議大隈重信工部大輔伊藤博文ニ劔一口（代金六百兩）

明治二十九年九月十二日
勅令
鐵道運輸、業ヲ振興

京濱間鐵道、
屬スル諸建築
功

鐵道屬スル
電信線鐵道
當該所轄ス

ヲ賜ハル又鐵道頭井上勝ニ金四百兩白縮緬壹匹鐵道助竹田春風七等出仕伊東勅典（本年十月十七日鐵道大屬ヨ）ニ金四百兩ヲ賜ハリ其督役ノ勞ヲ賞セラル是日東洋銀行並ニ鐵道差配役「カーギル」建築首長「シツパルト」建築副長「テウーニング」運輸長「ハート」蒸氣頭「アサント」醫師「ハーリル」同「ウエル」等ニ物品ヲ賜フ各差アリ○廿九日京濱間鐵道ニ屬スル諸建築ノ全功ヲ奏スルハ此日ニアリ而シテ其創業ヨリ月ヲ閱スル三十一許トス
十月三日新橋橫濱ノ鐵道ニ屬スル電信線ヲ當寮ニ於テ所轄シ其規則ヲ定ム而シテ新橋、品川、河崎、鶴見、神奈川、橫濱ノ六局ハ各其長ヲ

置ク ○廿八日鐵道寮七等出仕田尻義隆鐵道
権助ニ任セラル（後千神命アリ在）
十一月廿六日鐵道寮官吏ノ人員並ニ傭使外
國人職務及給料等ヲ調査シ現員表ヲ製ス左
ノ如シ

鐵道寮官負表			
勅	任	奏	任
一	一	一	一三
二等中手	三等中手	四等中手	一等少手
一	一	一	二
技術一等見習上級	同中級	同下級	技術二等見習中級
一	一	八	三
一〇	一〇	一〇	一〇
一	一	一	一
技術等外見習上級	同中級	同下級	一〇
一	一	一	一〇
官費之部	技術	一〇	一〇
一	一	一	一
十三等出任少手心得	四等少手	三等少手	二等少手
九八	一一八	一	一
等外	任	判	任

明治三庚午四月十六日より五年間

傭
年
限

1

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Studies
<http://www.jacso.go.jp/>

英
華
事
務
所
備
外
國
人
現
負
表

備外國人現負表

國名	職名	人 名	給 料	備 年 限	任 處
英	建築長 副役	エングラント	初年 四百五十 二年 四百五十 三年 四百五十 四年 四百五十 五年 四百五十	明治三庚午四月十六日より五年間	神戸
全	建築掛 副役	セツパルト	初年 三百五十 二年 三百五十 三年 三百五十 四年 三百五十 五年 三百五十	五月九日より五年間	東京
全	全	ダイアック	初年 三百五十 二年 三百五十 三年 三百五十 四年 三百五十 五年 三百五十	三月一日より五年間	神戸
全	全	グレーデー	初年 三百五十 二年 三百五十 三年 三百五十	七月七日より三年間	全
全	大工	ベールム	初年 三百五十 二年 三百五十 三年 三百五十	同 断	品川
全	全	カットレー	初年 三百五十 二年 三百五十 三年 三百五十	同 断	横濱
全	石工	キング	初年 三百五十 二年 三百五十 三年 三百五十	同 断	全
全	鍛冶	ハムブレイ	初年 九十六 二年 九十六 三年 九十六	同 断	全

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
方連鎖	鉄道敷方	全	全	運輸方	建築監 察方	建築掛 副役	全	汽車監 察方	會計掛 長
ロナルド	ハルセー	ボーエル	スミツス	ゴールウエー	ウインボルト	ブランデル	ヘーマ	クリステイ	アルドリッチ
全	初年 九十二 二年 全 三年 全	全	全	初年 六百 二年 全 三年 全	初年 五百 二年 五百 三年 五百 四年 五百 五年 五百	初年 四百 二年 四百 三年 四百 四年 四百 五年 四百	初年 三百 二年 三百 三年 三百 四年 三百 五年 三百	初年 三百 二年 三百 三年 三百 四年 三百 五年 三百	初年 三百 二年 三百 三年 三百 四年 三百 五年 三百
同 断	同 断	同 断	同 断	明治四辛未二月二日より三年間	同	同	同	同	同
神戸	全	品川	全	横濱	東京	神戸	全	横濱	全

英	全	全	全	全	全	全	全	全	全
醫官長	書記役	頭取役	鉄板造	管方	汽車器	械方	全	全	全
パールセル	ブルマン	アンナンド	トムソン	ハート	アルラン	デビソン	トロツテル	フェルレー	セニヨラル
初年三百席 二年全 三年全 四年全 五年全	初年二百席 二年三百席 三年全	初年百九十五席 二年全 三年全	初年百二十席	初年百五十六席 二年全 三年全	初年百十六席 二年全 三年全	全	全	全	全
明治四十年末五月十四日より五年間	同 十月廿一日より三年間	同 三月五日より三年間	同 七月三十日より一年半間	同 三月より三年間	同 三月より三年間	同 九月十三日より三年間	同 九月十九日より三年間	同 九月十九日より三年間	同 十月十三日より三年間
横濱	神戸	横濱	神戸	横濱	全	全	全	全	全

英	全	全	全	全	全	全	全	全	全
大工	取締役	全	全	全	全	全	全	全	全
レー	デニニー	コール	ジルロン	ドール	ハジング	キングストン	ブロックレー	ハルリス	合衆 医官
初年百二十席 二年全	初年九十二席 二年全 三年全	初年八十六席 二年百席 三年全	全	全	全	全	全	初年三百席 二年全 三年全	初年三百席 二年全 三年全
同 二月廿四日より二年間	同 四月七月より三年間	同 六月十五日より三年間	同 同断	同 同断	同 同断	同 同断	同 同断	明治五十年正月廿二日より三年間	同
全	全	全	全	大阪	横濱	全	全	神戸	全

英	全	全	全	全		全	全	全	全
波戸場 建築師	書記役	建築 助役	建築 首長	大工		全	書記役	医官	建築 副役
テイメン	スミツス	ロジルス	ホイール	フヒルリツプス	月雇	シヤン	ガルース	ワイーレル	シヤン
百廿四席 ハナヤシ	初年二百席 二年二百廿席 三年二百廿席	初年三百席 二年三百廿席 三年四百席	初年九百廿席 二年千三百席 三年千三百席 四年千三百席	毎月百席		全 百廿席	全 百席	全 九拾六席	全 百廿席
明治五 壬申四月二日ヨリ一年三月間	同	同断	同	明治四 辛未二月		同	同	同	同
神戸	横濱	神戸	横濱	神戸		全	全	東京	神戸

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
汽車運 轉方	罐工	建築掛 副役	汽車器 械方	車工	汽車運 轉方	停車場 役内巡見	ホイ ンメン	全	器械取 付方
ロベルトソンゼームス	トチヨルチー	ジューウイング	カスウエル	ロベルトソンゼームス	ローベルツ	ヘルレンデール	フタールド	ツール	ケルメリー
毎日 三席 四十六	全	毎月 三百席	全 百廿席	毎日 三席 四十六	全	毎月 百席	毎日 二席	全	全 三席
同	同	同	同	明治五 壬申正月十八日ヨリ	同	同	同	同断	同
横濱	東京	横濱	神戸	横濱	全	全	全	神奈川	神戸

英	全	全	全	全	全	全	全	全	全
汽車運 轉方	船運送 取扱方	書記役	器械運 轉方	鉄線 敷	造營 方	書記役	全	鉄工	鉄線 敷
ホー ル	チャールス ス	エルリ ヲット	ワ ル	ギョー ニス ド ルト	スコ ット	ソ ル ブ	ガ ボ ー ル	クロ ス ヘ ン リ ー	シ ョ ー ウ イ ル リ ヤ ム
毎日 三 弗 八 二 セ ン ト	毎月 八 十 弗	全 百 弗	毎日 三 弗	毎月 九 十 弗	毎日 四 弗	毎月 百 弗	全 五 十 弗	毎日 三 弗 十 六 セ ン ト	全 二 弗 六 十 三 セ ン ト
明治五 年 四 月 廿 四 日 ヨ リ	同 五 月 六 日 ヨ リ	同 六 月 廿 七 日 ヨ リ	同 六 月 十 七 日 ヨ リ	同 七 月 廿 九 日 ヨ リ	同 八 月 七 日 ヨ リ	同 断	同 断	同 八 月 八 日 ヨ リ 三 年 間	同 断
横 濱	全	全	全	神 戸	横 濱	全	神 戸	全	横 濱

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
書記役	車工	倉庫方	日耳曼	英	日耳曼	月耳曼	合計		
ス ウ イ フ ト	チ ユ レ ッ ト	ア ン ド リ ユ ー	ケ ト ブ ル ジ ヨ ン	チ ヤ イ ル ド	コ ル ン ブ リ ト ー マ ス	セ ン ト ー マ ス	七 十 五 人		
毎日 百 弗	毎日 四 弗	毎月 百 弗	毎日 二 弗 半	全 二 弗	全 三 弗				
同 断	同 断	同 断	同 断	同 断	同 断	同 断	同 断	同 断	同 断
八 月 廿 九 日 ヨ リ	九 月 三 日 ヨ リ	九 月 五 日 ヨ リ	十 月 九 日 ヨ リ	十 月 十 二 日 ヨ リ	十 月 十 八 日 ヨ リ				
横 濱	全	全	全	全	神 戸	神 戸	神 戸	神 戸	神 戸

烟筒火災ノ爲
農家數戸焼失

運輸本局ヲ新
橋停車場ニ移
ス

鐵道常額
金ヲ定ム

旅客數ノ數ヲ
算計並車ノ度
數ヲ增加ス

明治六年一月廿七日午後第四時ノ上リ列車烈

風ノ爲ノ烟筒ノ火災ヲ歟攪シ路傍ノ農家數

戸ヲ焼尽ス北蒲田村ニ八幡塚村ニ戸所屋村ニ府廳

合議其建坪ノ數ニ應シ金ヲ賜フ

二月十三日横濱野毛浦停車場内ノ運輸本局

ヲ新橋停車場ニ移ス○當索ノ常額金昨五年

十月ヨリ本年十二月マテ三拾五万五千圓ト

定メ官給ヲ始メ京濱間鐵道ノ經費其他一切

ノ諸費緩急ニ應シ充用スヘク旨ヲ達セラル

三月一日新橋横濱間ノ發車九回ノ處本日ヨ

リ午後一時ノ發車ヲ増加シ其旨ヲ頒布ス(九回)

ノ發車ハ即チ往復十八回ニシテ旅客ノ數第

一等車一輛三百廿四人第二等車二輛七百九十二

人第三等車五輛一千二百四十人トス而シテ日

二一回ヲ加ル時ハ第一等三百六十人第二等

八百八十人トス(此ノ意)○十三日改正鐵道犯罪

罰例ヲ布告ス○十八日英國ニ委嘱シ汽車二

輛ヲ製造セシム是ヨリ先同國ヨリ輸送ノ汽

車十輛其内旅客運搬ノ用ニ適スルモノ六輛

ニシテ當時日ニ用ハルモノ五輛ナリ而シテ

旅客ノ數日ニ加ハリ日ナラスシテ八輛ヲ要

スルニ至ルヲ以テナリ

五月三十日鍊道七等出仕花房瑞連鐵道權助

ニ任セラル

六月五日上等汽車ノ乗客ニ三ヶ月ヲ限リ金

百貳拾圓ノ賃料ヲ以テ往復ノ常乗切手ヲ交

付ス

七月廿日汽車運輸費昨五年十月ヨリ定額ノ

花房瑞連鐵
道權助ニ任

英國ニ委嘱
シ汽車ヲ製
造セシム

汽車常乗切
手ヲ賣與ス

運輸費額

横濱辯天橋

鐵道頭井上勝
多能太田資政
鐵道權頭佐

京濱間荷物
運輸業ヲ開ク

鐵道案外課處
務運輸課外務
務車運輸處務
ノ三規定ヲ印刷

三井組ヲシテ荷
物運輸ノ事務
ヲ取扱ハシム

新橋停車場

別送ヲ以テ一ヶ月二万圓ト定メラレ収納金
ハ悉皆大藏省ニ納付スハク旨令アリ○廿一
日横濱辯天橋(長百五十三尺)四年八月十八日
新築ノ工ヲ起シ日數六百五十七日ヲ以テ其
工ヲ竣ク此經費金七万貳千貳百七拾七圓七
拾錢四厘五毛許トス○廿二日鐵道頭井上勝
願ニ依テ本官ヲ罷メ正六位太田資政鐵道權
頭ニ任シ鐵道助竹田春風工部少丞ニ任セラ
ル

八月九日停車場構内ニ於テ商賈ニ雜品ヲ鬻
賣スルヲ許シ其稅ヲ課ス

九月十三日鐵道貨物運送補則并ニ賃金表及
ヒ追加ヲ布告ス○十五日新橋横濱間荷物運

輸ノ業ヲ開キ其旨ヲ頒布ス○廿三日鐵道建
築規則ヲ議定ス是日氣車荷物運輸ノ賃金表
ヲ各停車場ニ於テ販賣ヲ許ス

十月三日鐵道案外課處務規定鐵道案運輸課
處務規定及ヒ鐵道案氣車運輸規定ヲ制定印
刷ス○五日午前午後共ニ七時ノ發車ヲ止メ
更ニ午後一時ノ發車ヲ加ヘ而シテ十二時發
ノ荷物車ヲ午前六時ニ換フ是レ晷影ノ短キ
ヲ以テナリ○新橋、神奈川、横濱ノ三停車場ハ
荷物運輸取扱所ヲ設テ三井組ヲシテ其事務
ヲ措置セシム(七年八月七日運輸局ニ於テ荷
物賃金收入高ノ内百八十五ヲ
以テ三井組ニ給ス)

十二月廿七日新橋停車場ヨリ本寮、電信一

拾五錢六厘

及ヒ旅費規
瓦斯燈設置
六弗許トス

道頭二任人

四月十五日新橋横濱間汽車來ル廿日ヨリ午

五月一日午後十時發車増加ニ付驛長始メ其
他ノ夜食賄料ヲ給人各差了リ○廿八日鐵道

六月三十日技術見習及七等外附屬ノ省工業
場出張賄料並ニ日常表人力車賃金等ノ制ヲ
定ム而シテ在勤旅行ハ定則ニ準ス

貨物送付噸數
寡キ以テ貨物
運送補助ノ改
正入

對水○水田
三六八

明月

四月十五日新橋横濱間汽車來ル廿日ヨリ午

貨物送付ノ噸數
寡キ以テ貨物
運送補則ノ改
正入

後一時ノ發車ヲ止メ同七時ニ換ヘ五月一日ヨリ午後十時ノ發車ヲ増加スル旨ヲ頒布ス是レ晷影ノ長短ヲ計テナリ

五月一日午後十時發車増加ニ付驛長始メ其他ノ夜食賄料ヲ給ス各差アリ○廿八日鐵道債物運送補則并ニ列車賃金表ヲ改正頒布ス是レ荷物運輸開業以來九ヶ月ヲ閱スルニ各所ヨリ送付ノ荷物纔ニ指ヲ屈スルニ過スシテ船積荷物ノ夥多ナルハ全ク賃金ノ多少ニ関スルヲ以テ改正ノ舉アリト云

六月三十日技術見習及ヒ等外附屬ノ者工業場出張賄料並ニ日常表人力車賃金等ノ制ヲ定ム而シテ在勤旅行ハ定則ニ準ス

鐵道權頭太田資政
資政奉調國差遣

七月神奈川駅停車場外四十五坪五合ノ民有地ヲ購買(一坪金十割)鐵道副線ノ用ニ充ル爲メ官用地ニ編入ス

八月七日鐵道權頭太田資政ヲシテ全權辦理

大臣大久保利通工隨行清國工派遣セシムル

本年十一月廿七日歸朝ハル

九月九日新橋停車場構内ヨリ失火板藏一棟

燒亡建築課所轄ノ物品消燬スルモ其價值

金千八百三拾四圓拾八錢五厘洋銀七千七百

八拾四弗二拾八セント許トス○廿九日鐵道

助下村盛俊願ニ依テ本官ヲ罷メラル

十月十一日午前八時十五分横濱發ノ列車新

橋工輪著ノ際四輛轉覆而シテ乗客ハ火夫田

鐵道助下村盛俊ヲ罷

鐵道權頭太田資政

正誤

○是歲京濱間汽車乗客數ヲ總計ス三百五拾八万七千九百

六拾五人ニテ其乗客貨物賃金等ノ收入金四拾四万七千六

百五拾九圓貳拾七錢五厘許而シテ營業費支出ノ合計ハ

金貳拾四万八千五百五圓七錢四厘許ナリト云

テ東京ニ置ク是レ關西ノ事務多端ナルヲ以

テナリ○是歲運輸課ノ收入經費ヲ總計スル

ニ收入ノ額ハ金四拾万千六百貳拾貳圓貳拾

四錢壹厘許ニシテ支出ノ額ハ貳拾三万貳千

九百六拾四圓七拾五錢五厘許トス

明治八年一月鐵道寮傭外國人居宅料及旅費規則ヲ改正ス

鐵道權頭太田資政

鐵道權頭太田資政清國左遣ス

鐵道助下村盛俊ヲ附シ

七月神奈川駅停車場外四十五坪五合ノ民有地ヲ購買(一坪金十割)鐵道副線ノ用ニ充ル為メ官用地ニ編入ス

八月七日鐵道權頭太田資政ヲシテ全權辦理大臣大久保利通工隨行清國工派遣セシメラ

ル本年十一月廿七日歸朝ハル

九月九日新橋停車場構内ヨリ失火板藏一棟焼亡建築課所轄ノ物品消燬スルモ其價值金千八百三拾四圓拾八錢五厘洋銀七千七百八拾四弗二拾八セント許トス○廿九日鐵道助下村盛俊願ニ依テ本官ヲ罷メラル

十月十一日午前八時十五分横濱發ノ列車新橋工輪著ノ際四輛轉覆而シテ乗客ハ火夫田

鐵道權頭太田資政清國左遣ス

鐵道助下村盛俊ヲ附シ

鐵道權頭太田資政清國左遣ス

鐵道助下村盛俊ヲ附シ

鐵道權頭太田資政清國左遣ス

鐵道助下村盛俊ヲ附シ

鐵道權頭太田資政清國左遣ス

鐵道助下村盛俊ヲ附シ

中久次郎ノ盡力ヲ以テ其負傷ヲ免カル依テ久次郎工賞金五圓ヲ賜フ
十一月八日運輸課守線手以下傭日給表ヲ改正ス○十七日小荷物運送規則ヲ頒布ス是レ坂神間ニ於テ施行ノ例ニ倣フテナリ
十二月十日本索ヲ大阪ニ移シ運輸掛ノ一科ヲ東京ニ置ク是レ關西ノ事務多端ナルヲ以テナリ○是歲運輸課ノ收入經費ヲ總計スルニ收入ノ額ハ金四拾万千六百貳拾貳圓貳拾四錢壹厘許ニシテ支出ノ額ハ貳拾三万貳千九百六拾圓七拾五錢五厘許トス
明治八年一月鐵道索傭外國人居宅材料及旅費規則ヲ改正ス

田島喜八運輸
荷物取扱ハシム

大坂在勤瓜生寅
新橋運輸課へ
轉任

六郷川鉄橋架
設ノ議決ス

二月廿四日工部卿伊藤博文前月廿日大坂へ出張但馬生野京都越前敦賀等ヲ巡回是日歸省ス

四月九日横濱元濱町商田島喜八エ運輸荷物ノ取扱ヲ命シ三井組ノ例ニ準據セシム○十七日大坂在勤鐵道助瓜生寅新橋運輸課へ轉任ス

五月十八日六郷川木橋ヲ鉄製ニ改架ノ稟請ヲ允可セラル○是日経費收入豫算内譯明細簿等ノ書式ヲ達セラル

六月十四日新橋横濱兩停車場より午後十一時十五分ノ發車(傳車ヲ川寄)一回ヲ増加シ其旨ヲ頒布ス○是日午前九時三十分發下り列

正誤

是歲一月ヨリ本月至ニ京濱間汽車乗客數ヲ總計スニ八拾九萬三千九百二十八人ニシテ其乗客貨物賃金等ノ收入金貳拾壹萬九千四百三拾六圓四拾六錢三厘許營業費支出ノ額ハ金拾貳萬八千九拾五圓貳拾貳錢五厘許ナリ而シテ七月以降ノ計美ハ過ハ五月ノ令條ニ準據シ會計年度ヲ以テ表ニ掲モトス以下之ニ準ス

本年一月ヨリ六月至ニ京濱間
月々運輸課
経費收入ノ總計

客ノ寡キヲ以テナリ○是歲一月ヨリ本月至ニル新橋運輸課ノ定額経費ノ總計ハ金拾萬零五千貳百五拾四圓貳拾八錢四厘洋銀貳萬九千三百四拾弗拾ニセニト許ニシテ收入ノ總計ハ金拾七萬五千三百九拾四五拾壹錢貳厘洋銀貳千三百四拾七弗許トス而シテ七月以來ノ計算ハ過ル五月ノ令條ニ準據シ會計

田島喜八運輸
荷物取扱シム

大坂在勤瓜生寅
新橋運輸課へ
轉任

六卿川鐵橋架
設ノ議決ス

二月廿四日工部卿伊藤博文前月廿日大坂へ出張但馬生野京都越前敦賀等ヲ巡回是日歸省ス

四月九日横濱元濱町商田島喜八エ運輸荷物ノ取扱ヲ命シ三井組ノ例ニ準據セシム○十七日大坂在勤鐵道助瓜生寅新橋運輸課へ轉任ス

五月十八日六卿川木橋ヲ鉄製ニ改架ノ稟請ヲ允可セラル○是日経費收入豫算内譯明細簿等ノ書式ヲ達セラル

六月十四日新橋横濱兩停車場ヨリ午後十一時十五分ノ發車(傳車ヲ川寄)一回ヲ増加シ其旨ヲ頒布ス○是日午前九時三十分發下り列

鐵正

鐵正

鐵正

鐵正

鐵正

鐵正

本年一月ヨリ六
月迄九運輸課
経費收入ノ總
計

車新橋ヨリ横濱へ輸送ノ小荷物紛失而シテ其所置規則中照準スヘキ條例ナキヲ以テ省議掛リ官員ヨリ其物品ノ價ヲ荷主ニ償ハシム○廿七日午後十一時十五分發ノ發車前日ノ頒布ヲ更正シ鶴見ヲ除クノ外各場ニ停車ノ旨ヲ頒布ス是レ川寄一場ノ停車ニテハ乗客ノ寡キヲ以テナリ○是歳一月ヨリ本月ニ至ル新橋運輸課ノ定額経費ノ總計ハ金拾万零五千貳百五拾四圓貳拾八錢四厘洋銀貳万九千三百四拾弗拾ニセント許ニシテ收入ノ總計ハ金拾七万五千三百九拾四五拾貳錢貳厘洋銀貳千三百四拾七弗許トス而シテ七月以來ノ計算ハ過ル五月ノ令條ニ準據シ會計

電信鐵道鑛
山等經費收支
常用金ノ收支
更正

年度ヲ以テ表ニ掲ルモノトス以下之ニ準
七月三日大藏省ノ申稟ヲ批シテ電信鐵道鑛
山等ノ經費収益本年七月以後常用金ノ收支
ニ更正ノ旨ヲ達セラル

六月廿四日大藏卿大隈重信上申ノ略工部
省所轄電信鐵道鑛山等ノ經費収益共ニ準
備金ヲ以テ出納セシニ六年一月以降本年
六月迄ノ計算収支ヲ差引巨額ノ不足ヲ生
シ目今ノ姿ニテハ容易ニ益金ノ目途之レ
ナク而シテ準備ノ方法ハ專ラ増殖ヲ主ト
シ紙幣又ハ内外ノ諸公債ヲ消却スルニ在
リ茲ニ於テ名實齟齬胸算相立難ク依テ前
條ノ廉々常用金ノ收支ニ更正相成度ク仰

テ裁可ヲ請フト云(閣下ノ部六年五月)

是日新橋横濱間汽車賃金表ヲ改正ニ來ル十
日ヨリ實施ノ旨ヲ頒布ス是レ各停車場ノ里
程ヲ比較シ賃金ノ均シカラサルヲ以テナリ
○八月汽車常乗切手ノ授與今後本省ニ於テ
處分シ工部卿ノ鈴印ヲ要スルモノトス○廿
日鐵道各驛詰ノ電信技術生徒以來電信寮ノ
所轄トナシ而シテ二寮ニ於テ其約条ヲ定ム

(五年十月電信線所
轄ノ条參考スヘシ)

八月十八日神奈川縣平民渡井八太郎ニ汽車
乗客ハ貸蒲團ノ營業ヲ許シ月毎ニ冥加金三
圓ヲ納メシム

九月廿三日東京府平民和田力藏外七名神奈

和田力藏ニ運輸
荷物ヲ取扱ハシム

渡井八郎貸蒲
團ノ營業ヲ許シ
冥加金ヲ課ス

議官佐野常民
ヨリ進達ノ鐵道
布買ノ目的ヲ尋
テ得セラル

川縣平民和田鐵五郎外一名工運輸荷物ノ取
扱ヲ命シ三井組ノ例ニ準據セシム
十月二十八日元澳國博覽會副總裁議官佐野
常民ヨリ進達セシ鐵路布置ノ目的報告書一
冊併ニ鐵道說以國鐵道記事澳國西北鐵道建
築始末及ヒ近狀中亞細亞鐵道說四冊圖解一
葉本省上下附意見申出ツヘク旨令アリ
十一月廿四日芝田町二丁目二番地坪數百廿
六坪余價金三百四拾四圓四拾貳錢貳厘ヲ以
テ購買新橋品川間副線停車場ノ用ニ充ツ
十二月三日新橋橫濱間運輸費本年一月ヨリ
六月迄一ヶ月貳萬圓ノ處汽車出發度數增加
並ニ線路修繕等ニテ金千五百圓洋銀七千五

橫濱倉庫掛
外國人ヲ罷メ

家ノ運輸賃金
ヲ定ム

百弗不足ノ分別進下附相成度ヲ稟請ノ旨ヲ
允可セラル
明治九年一月二十七日大雪鐵軌ヲ埋メ行路艱
難ナルヲ以テ午後兩次ノ發車ヲ止ム○三十
一日橫濱倉庫諸物品ノ出納傭外國人ヲ罷メ
倉庫料官吏ヲシテ代テ其職ヲ勤メシム
二月一日新橋發車時限午後十時ヲ十時十分
ニ十一時十五分ヲ十一時廿分ニ改正シ其旨
ヲ頒布ス是レ新橋停車場内線路ノ位置ヲ變
換改築スルヲ以ナリ(改築費金三千八百四拾
四月十三日象志匹橫濱ヨリ新橋迄輸送ノ乞
フ者アリ而シテ運輸規則中照準スヘキ條例
ナキヲ以テ提議ノ上賃金拾圓ヲ納メシム

米人ヲテ上車
中散旅

鐵道助佐藤政
養職ヲ解ト賞
金ヲ賜フ

五月二十一日午後六時十五分下り列車川崎
驛到着ノ際米國汽船ヲ子レ一ノ乗組外國人
コヲ子レト車中へ散尿不法ヲ行ヒタルヲ以
テ全國領事館へ告々其罪ヲ處分セシム○二
十二日鐵道助正六位佐藤政養願ニ依テ職務
ヲ解キ而シテ鐵道創業以來ノ勤勞ヲ賞セラ
レ金三百圓ヲ賜フ
六月十二日大森停車場ヲ設ケ是日ヲ以テ運
輸ノ業ヲ開キ乗車時刻並ニ賃金表ヲ頒布ス
（最キニ蒲田橋邊鐵道敷方外國人ノ官舎及
ヒ工夫溜所ノ建築竣工ニ至リ該建物の不用ニ
屬ヒスト云此經費金三百圓拾三圓九角五分
ニ供ス）事務章程ヲ増補シ鑛山鐵道燈臺電信
等ニ係ル會社ノ設立願自今工部省へ申請ス

ハク旨布告セラル○是月昨八年七月以來ノ
京濱間汽車乗客ノ數貨物ノ量目並ニ収入支
出ノ金額ヲ總計スル左表ノ如シ

各停車場ノ發
停時限ヲ改メ速
度ヲ平均セシム

新橋品川間ノ副線
竣工並ニ海岸ニ
停車場ヲ開ク

	八月	七月	六月	五月	四月	三月	二月	一月	十二月	十一月	十月	九月	八月	七月	六月	合計
乗客ノ數	一四二、四五二	一六、八七五	一三九、一七三	一五、一八二	一四、八三三	一四、九四七	一四、九四七	一四、九四七	一四、九四七	一四、九四七	一四、九四七	一四、九四七	一四、九四七	一四、九四七	一四、九四七	一六六、五五八
貨物ノ數	一、三三三、八三三	一、三八六、七四	一、七五、三七	一、七五、三七	一、七五、三七	一、七五、三七	一、七五、三七	一、七五、三七	一、七五、三七	一、七五、三七	一、七五、三七	一、七五、三七	一、七五、三七	一、七五、三七	一、七五、三七	一、三三三、八三三
乗客ノ賃	三、三六〇、九五	三、六八六、五〇	三、四、五七	三、四、五七	三、四、五七	三、四、五七	三、四、五七	三、四、五七	三、四、五七	三、四、五七	三、四、五七	三、四、五七	三、四、五七	三、四、五七	三、四、五七	三、三六〇、九五
貨物ノ賃	三、〇八五、四五九	三、〇八五、四五九	三、〇八五、四五九	三、〇八五、四五九	三、〇八五、四五九	三、〇八五、四五九	三、〇八五、四五九	三、〇八五、四五九	三、〇八五、四五九	三、〇八五、四五九	三、〇八五、四五九	三、〇八五、四五九	三、〇八五、四五九	三、〇八五、四五九	三、〇八五、四五九	三、〇八五、四五九
費用金	一〇、〇六九、二二	一八、七五、一五六	一六、五八〇、九七	一六、五八〇、九七	一六、五八〇、九七	一六、五八〇、九七	一六、五八〇、九七	一六、五八〇、九七	一六、五八〇、九七	一六、五八〇、九七	一六、五八〇、九七	一六、五八〇、九七	一六、五八〇、九七	一六、五八〇、九七	一六、五八〇、九七	一〇、〇六九、二二
差引殘金	二六、六二七、一七三	二〇、八五一、九二六	一八、六〇四、三一一	二二、四七八、七六六	二二、四七八、七六六	二二、四七八、七六六	二二、四七八、七六六	二二、四七八、七六六	二二、四七八、七六六	二二、四七八、七六六	二二、四七八、七六六	二二、四七八、七六六	二二、四七八、七六六	二二、四七八、七六六	二二、四七八、七六六	二六、六二七、一七三

八月十八日京濱間氣車ノ發停時限ヲ改正頒
布ス是レ曩キニ定ムル所ノ時限ハ當時各停
車場ノ距離ニ從ヒ分割セシモノニシテ其速
度固ヨリ平均ナラス之ニ加フルニ川崎以北
ニ大森驛ヲ設置シ益ス南北速度ノ權衡ヲ失
ヒ竟ニ京濱ノ發停ヲ異ニシ弊害甚ナカラサ
ルヲ以テナリ
九月三十日外國人ノ内地旅行免狀改正ニ付
各所出張ノ人名ヲ調査外務省ニ送致旧狀ト
交換ス
十二月一日新橋品川間ノ副線竣工ニ付其中
興芝田町二丁目ノ海岸ニ沿ヒ假ニ停車場ヲ
設テ是日ヲ以テ業ヲ開キ而シテ時刻賃金表

ヲ改正頒布ス

工部省中ノ諸寮ヲ
廢シ更ニ鐵道局ヲ
置キ大野誠樵大書
信新橋橫濱運輸
局ノ事務ヲ管ス

外國人ノ時辰器
調査掛リヲ罷ハ

明治十年一月一日京濱間午後十一時十五分ノ
發車ヲ止ム是レ寒夜乗客ノ漸ニ減少スルヲ
以テナリ○五日新橋品川間ノ副線午前六時
三十分ノ發車ヲ止ム是レ乗客減少得失相償
ハサルヲ以テナリ○十一日工部省中ノ諸寮ヲ
廢シ更ニ鐵道局ヲ置カル此際大野誠樵大書
記官ニ杉實信少書記官ニ任シ新橋橫濱運輸
局ノ事務ヲ管理ス（閣下ニ詳シ部本年一月ノ條）○
廿二日京濱間各停車場ノ時辰器ノ調査掛リ
伊太利人ヒートルバルツカ氏（拾月拾五）ヲ罷メ
測量技術三等少手辻新並ニ堀河野時樓ヲシ
テ代テ其業ヲ執ラシム○三十一日各停車場

各停車場ノ掛吏
員ヲ定ム

ノ掛吏員ヲ定ム乃チ新橋ハ驛長一名守線監
督一名、機関科三名、出札科四名、荷物料四名、搦
札科一名ニシテ三等屬島井尚三驛長ニ任ス、
品川駅ハ驛長一名、助役一名、出札兼旅荷物料
一名ニシテ九等屬三谷春道驛長ニ任ス、大森
驛ハ驛長一名、出札兼旅荷物料一名ニシテ九
等屬中野將吾驛長ニ任ス、川崎驛ハ驛長一名、
助役一名、出札兼旅荷物料三名ニシテ五等屬
藤田直溫驛長ニ任ス、鶴見駅ハ驛長一名ニシ
テ七等屬大西直哉其職ニ任ス、神奈川驛ハ驛
長一名、助役一名、出札兼旅荷物料三名ニシテ
八等屬打村廣驛長ニ任ス、横濱ハ驛長一名、助
役一名、機関科一名、出札二名、荷物料四名ニシ

觀見橋安橋之橋修理

新橋品川間副線小運轉ヲ廢止ス

八月四日鶴見橋ヲ鐵制ニ安橋ニ橋ヲ鐵桁ニ換ヘ修理ノ工ヲ起ス(鶴見橋ノ豫算金五萬貳千七百圓安橋ニ橋ノ豫算金貳萬四千圓トス)

九月一日新橋品川間ノ副線小運轉ヲ廢止ス是レ客歲十二月一日開業以來本年六月迄ノ

鉄橋架設竣工ノ注正誤

収入金五百八拾

鉄橋長サ六百尺幅廿四尺五寸高廿八尺陸橋長サ千零柒尺八寸幅廿八尺高廿三尺
總長合計千六百五十七尺八寸許トス此建築經費ノ總額金三拾四萬貳千四拾三拾五
ニシテ英國ハ寄賜ノ物品價值ノ總額金九萬四圓許トス該工業ヲ擔任セシハ
僱英人建築師「ピカ」及「ジョン・グランド」ノ「ホル」ト
相踵テ竣工ニ至レリ

六郷川鐵橋架設竣工

三拾四萬貳千圓三拾錢ニシテ英國ハ寄賜ノ物品價值ノ總額金九萬四圓許トス是日業

ヲ開キ各局長官參會ス(八年五月ノ條參考スベシ)

觀見橋安橋之橋
修理

新橋品川間副
線小運轉ノ
廢ス

六郷川鐵橋架
設竣工

八月四日鶴見橋ヲ鐵制ニ安橋ニ橋ヲ鐵桁ニ
換ヘ修理ノ工ヲ起ス（鶴見橋ノ豫算金五萬貳
千七百四十圓）

九月一日新橋品川間ノ副線小運轉ヲ廢止ス
是レ客歲十二月一日開業以來本年六月迄ノ
収入支出ノ額ヲ通計スルニ収入金五百八拾
五圓五拾貳錢許ニシテ支出金千五百七拾四
圓九拾壹錢許トス即チ金九百八拾九圓三拾
九錢ノ損耗アルヲ以テナリ

十一月廿七日六郷川鐵橋架設竣工（建築經費
ノ總額金
三拾四萬貳千圓三拾錢ニシテ英國工寄）是日業
ヲ開キ各局長官參會ス（八年五月ノ條
參考スベシ）

旧兵部少監
五等出佐林勝敏
欽道助三任ノ
核湊在勤
壬申五年
三月廿三日